



医学生の皆さまへ

臨床研修医募集の ご案内

皆様のなりたい「医師」は、
どんな医師ですか？

新潟医療センターは、
その道への基礎づくりをお手伝いします。



ごあいさつ

CONTENTS.1

病院の理念

生命の尊重と人間愛を基本として、
地域社会の医療・保健・福祉に貢献することをめざします。



ごあいさつ

「やさしく、ゆっくり、何度でも」



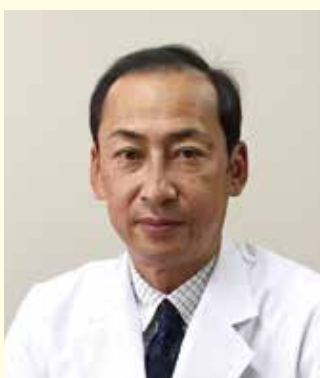
病院長 吉澤 弘久

卒後研修のうち、初期研修期間は、医師としての基礎を身につけること、将来自分が進む診療科を決めるという2つの大きな意味でもとても重要な2年間であると思われま

す。当院での研修の大きな特徴は、13か月で必修にある基本的な研修を行い、11か月で自由に研修科を選んでもらうことにあります。この自由選択を多くしたプログラムは、志望する科を決めていない研修医には自分が興味のある科を自由にローテートしてもらい、将来自分が進む科を決める判断材料にしてもらい、志望する科をきめている研修医にはその科の研修を充分に行っていただくことを目的としています。

当院での研修は指導医の先生と共に種々の患者さんの診療に従事して、基本的な診療技術を学んでいただくと同時に、種々の学会・研究会に積極的に演題を発表してもらい、演題の作り方、発表の仕方を学んでいただきます。当院は新潟大学の研修協力病院として、毎年3～6人の研修医を受け入れており、指導医の先生は研修医の指導には十分な経験を積んでいます。

新研修医の先生方の積極的な応募をお待ちしています。



プログラム責任者 佐久間 一弘 麻酔科部長

卒業試験・国家試験を乗り切ってさあ臨床研修！希望に燃える半面、不安がいっぱいの皆さんも多かろうと思います。失敗ばかりして周りの人に迷惑かけてばかりかもしれない。指導医の先生とはうまくいくのだろうか。最初からできるわけがありません。当院では基本の基本・基礎の基礎からやさしくゆっくりと指導していきます。また研修医の皆さんのQOLを重視し、余裕のある楽しく快適な研修医生活を送っていただきたいと思います。

「この画像見て所見と診断考えて。後で聞くから」「この症例は検討会にかけるとかまとめておくように」「今手が離せないからちょっとそこで見ていて」当院はこのような指導はしません。可能な限り研修医の皆さんと共に過ごす時間をとり、一緒に考え診療に当たります。わからないことがあればしっかり説明し、忘れてしまったらもう一度より詳しく解説します。静脈確保などの手技に失敗したら何故うまくいかなかったか理由を考え、次回につなげます。ゆっくりゆっくり数を重ねれば必ず成功します。学生時代に一生懸命覚えた知識や見るだけだった手技を十分な時間をかけて自分のものにしませんか。プライマリ・ケアをしっかり学んで、将来どの道に進んでも大丈夫なように指導します。

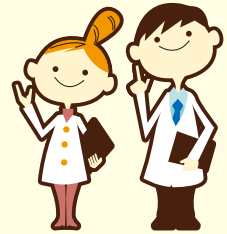
各科そしてメディカルスタッフとの連携がしっかりしているのも当院の特徴です。病院全体が力を合わせてやさしくゆっくりと、そしてしっかりと皆さんを指導します。

新潟医療センターについて

CONTENTS.2

急性期～慢性期の幅広い地域医療の担い手

新潟市の中心部にある、地域有数の総合病院です。
新潟大学医歯学総合病院とも至近の距離にあります。



病院の概要

病院名	新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター
住所	〒950-2022 新潟市西区小針3丁目27番11号
電話番号	025-232-0111 (代表)
病床数	一般病床253床 (うち緩和ケア病床20、循環器特例病床12、神経難病12を含む) 療養病床146床 (地域包括ケア病棟39床、回復期リハビリ病床54、医療型病床53)

常勤職員数	約500人
診療科目	内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 内分泌・糖尿病内科 腎臓内科 脳神経内科 外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 麻酔科 歯科 小児歯科 歯科口腔外科

病院の所在地・特徴

新潟市の紹介

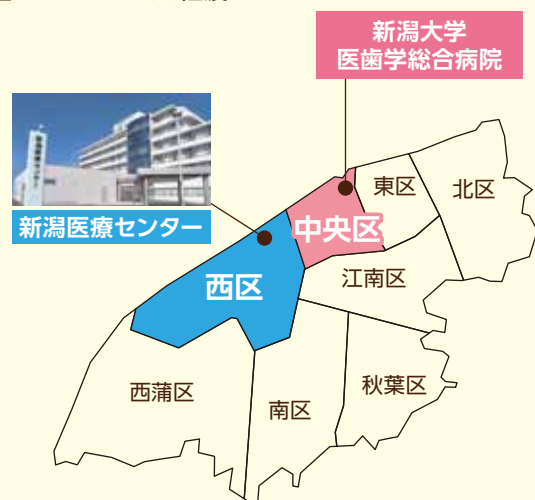
新潟市は、首都圏に比較的近く、国際空港、国際貿易港、新幹線、高速道路など高速交通基盤が整備されている一方、日本海に面した豊かな自然を有し、お米などの農産物や新鮮な魚介類など、自然の恵みも豊富で、人情味豊かな人柄とあいまって、大変住みやすいまちです。

また、豪雪地帯の新潟県にあって、本市は広大な新潟平野の海岸線に位置していることや、佐渡の島陰にあることから、県内でも降雪の少ない地域となっています。

新潟医療センターの所在地・特徴

新潟医療センターは、**新潟市の中心部**である西区にあり、新潟市中心部のみならず周辺地域の地域医療の担い手として、高齢者の感染症などの一般医療から、心筋梗塞でのカテーテル治療などの高度医療、回復期リハビリテーションや緩和ケアに至るまで、**幅広い分野での医療サービスの提供**を行う、市内有数の総合病院です。

新潟駅や繁華街へのアクセスがバス一本でできる交通至便な位置にあり、また、特定機能病院である**新潟大学医歯学総合病院**から**至近の距離**にあり、同院との診療連携・人材交流が密に行われています。



新潟医療センターの臨床研修

CONTENTS.3

新潟医療センターの臨床研修の目標

当院の臨床研修の目標は、皆さんがそれぞれ思い描く
「なりたい『医師』」になるための「基礎づくり」です

皆さんがなりたいのは、どのような「医師」ですか？

- メスを握って、カテーテルや内視鏡を駆使して、病気をどんどん治していきたい
- 救急で救える命を救いたい
- 災害時の医療に強くなりたい
- プライマリ・ケア一般を広く習得して、ゲートキーパーになりたい
- common diseaseや生活習慣病を的確に診療し指導する、街の「お医者さん」になりたい
- 将来は開業したい
- 健康診断や産業医活動などで、未治療患者様を治療に繋いだり、疾病予防に関わりたい
- 病理医、法学医、検査専門医への道を進みたい
- 研究(基礎研究・臨床研究)をしたい
- 医療行政に携わったり、赤十字活動をしたい
- 起業家・イノベーターとしての視点を持ちたい

などなど、さまざまな夢をお持ちだと思います。

新潟医療センターの臨床研修の目標は、皆さんがそれぞれ思い描く
「なりたい『医師』」になるための「基礎づくり」です

「なりたい『医師』」になるための「基礎づくり」とは？

厚生労働省が掲げる、臨床研修の基本理念のキーワードは、下記の三つです(医師臨床研修指導ガイドラインより)。

臨床研修の 基本理念のキーワード

-厚生労働省-

1. 医師としての**人格の**かん養
2. 医師としての**「社会的役割」**の認識
3. **基本的な診療能力**の習得

どの道に進むにしても、“特定の分野の狭い範囲は教わったが、医療の全体を知らない”状態では、次のステップで羽ばたくチャンスや、長い医師生活での基礎づくりが遅れてしまいます。

新潟医療センターの臨床研修は、皆さんの進む道にかかわらず必要とされる上記の三つをバランスよく習得し、次のステップに生かすための「基礎づくり」を応援することを目標としています。



どの道に進むとしても必要な「基礎部分」



「やさしく、ゆっくり、何度でも」「安全・安心な研修」

新潟医療センターでは、「〇〇しておいて。後でみるから」的な“ほったらかし”式指導ではなく、「やさしく、ゆっくり、何度でも」皆さんと指導医・各科医師と一緒に考えながら、**安全・安心な研修サポート**を行い、知識や手技を自らのものにして頂きます。

また、各診療科・スタッフ・診療機能・設備が充実した総合病院としては、**各科の枠を超えた連携がスムーズ**なことが当院の特徴ですので、縦割りのしがらみに悩まされず、皆さんの実りある「基礎づくり」を行えます。

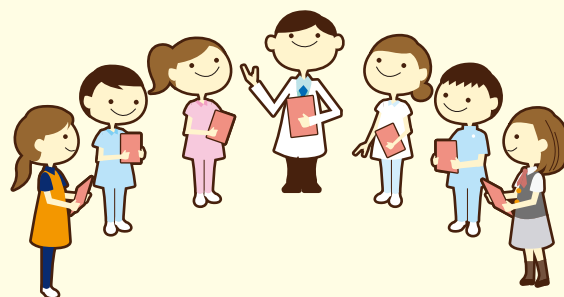


「病理診断科、歯科、メディカルスタッフとの連携、チーム医療」

常勤の病理医がいる医療機関では県内でも数少ないのですが、新潟医療センターには常勤の病理専門医がおり、日々の診療での疑問点を気軽にディスカッションできます。臨床研修で病理診断科を自院で選択できる研修病院は殆どありませんが、**当院の臨床研修では、病理診断科を選択研修することもできます。**

また、常勤医による歯科が併設されており、日常の診療で不可欠な口腔ケア、歯科治療のみならず、嚥下造影・嚥下内視鏡などを駆使した嚥下・摂食評価・リハビリテーションが行えます。

更に、様々な分野の認定看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、公認心理師、臨床工学士、社会福祉士（ソーシャルワーカー）などのメディカルスタッフがしっかり揃っています。総合病院としては、職種間の連携がスムーズなことが特徴で、各種のチーム医療が機能しています。「リハビリテーション」「栄養指導」「褥瘡予防・管理」「感染管理」「服薬指導」などを実際にどのように行っているかを目の前で知ることができ、また、他職種連携・多職種連携の大切さとその実態を学べます。



病理診断科



嚥下造影



認定看護師 (写真は褥瘡管理)

医療制度への理解、 医師としての「社会的役割」の認識のために

皆さんがどの道に進むにしても、社会の医療・保健・福祉を担う一員として、また、厚生労働省が掲げる臨床研修の基本理念の一つである「医師としての『社会的役割』の認識」のためにも、医療制度の理解は不可欠です。

新潟医療センターは、地域の急性期医療・二次救急の担い手としてだけでなく、下記のような急性期から慢性期、緩和ケア、さらに健診センターといった、地域社会の医療・保健・福祉の全てのフェーズに根ざした診療機能を有しており、地域医療の全体像と医療制度の実際を学べます。

地域医療における医師の役割

発症

急性期

急性期病棟



手術



心臓カテーテル検査・治療



救急医療／麻酔

地域包括ケア病棟

急性期医療を経過した患者様及び在宅において療養を行っている患者様等の受入並びに患者様の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える病棟



回診



栄養サポートチーム



療養指導(写真はインスリン自己注射指導)

回復期

回復期リハビリテーション病棟



リハビリテーション



退院に向けた多職種カンファランス

療養型病棟



認知症ケアサポートチーム

生活期

- ・緩和ケア病棟
- ・健診センター

- ・介護老人保健施設(併設)
- ・訪問看護ステーション(併設)

- ・居宅介護支援事務所(併設)

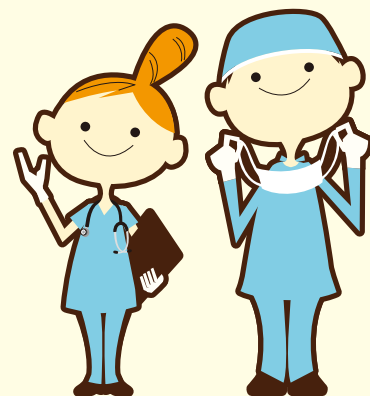
もっと専門的な領域もみてみたい・経験したい、という方へ

「なりたい『医師』」になるための「基礎づくり」を行いながら、その「先」を目指す研修もできます。

新潟医療センターの臨床研修は、基本的な診療能力の習得に重点を置いています。ただし、当院は、地域医療を担う地域有数の総合病院として、**専門医療についても高い診療能力を有し**、基本的な診療能力の「更に先」を勉強したい方の**教育機能を有した病院**でもあります。

新潟医療センターが認定されている研修・教育施設

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| オール新潟(大学基幹)内科専門研修プログラム連携施設 | 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 |
| 日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設 | 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 |
| 日本がん治療認定研修施設 | 日本消化器病学会専門医制度審議委員会認定施設 |
| 日本肝臓学会認定施設 | 日本消化器内視鏡学会指導施設 |
| 日本呼吸器学会認定施設 | 日本神経学会認定専門医制度准教育施設 |
| 日本内分泌学会認定教育施設 | 日本糖尿病学会認定教育施設(I) |
| 日本動脈硬化学会認定専門医認定教育施設 | 日本外科学会外科専門医制度修練施設 |
| 日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設(関連施設) | 日本乳癌学会関連施設 |
| 日本整形外科学会認定医研修施設 | 日本皮膚科学会認定専門研修医研修施設 |
| 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 | 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医教育施設 |
| 日本病理学会研修協力施設 | 日本環境感染症学会認定教育施設 |
| 人間ドック健診専門医研修施設 | |



さらに、当院では、得意分野を生かした特色ある治療を行っている分野もあります。

基本的な診療能力を習得した上で、なお「その先」を勉強したい、という方には、どんどん勉強して頂くことができるようなプログラムを組むことができますし、特に「**重点分野臨床研修コース**」としてプログラムをあらかじめ用意している分野もあります。また、当院のすぐ近くにある特定機能病院である新潟大学医歯学総合病院や、その他の協力医療機関で、最先端の医療に触れながらの研修も可能です。

スポーツドクター、サッカーJリーグチームドクター、産業医、労働衛生コンサルタントや、企業とのメディカルデバイスの共同開発・特許取得など、プラスアルファのスキルをもった医師も当院にはおります。また、行政、起業・経営・医療イノベーションなどを志向する方も増えています。

新潟医療センターは、そのようなプラスアルファのキャリアを目指す研修医の皆さんも歓迎しています。新潟県の新たな取り組みとして創設された「**イノベーター育成臨床研修コース**」も用意しています。



不整脈に対するカテーテルアブレーション



腹腔鏡を用いた低侵襲手術



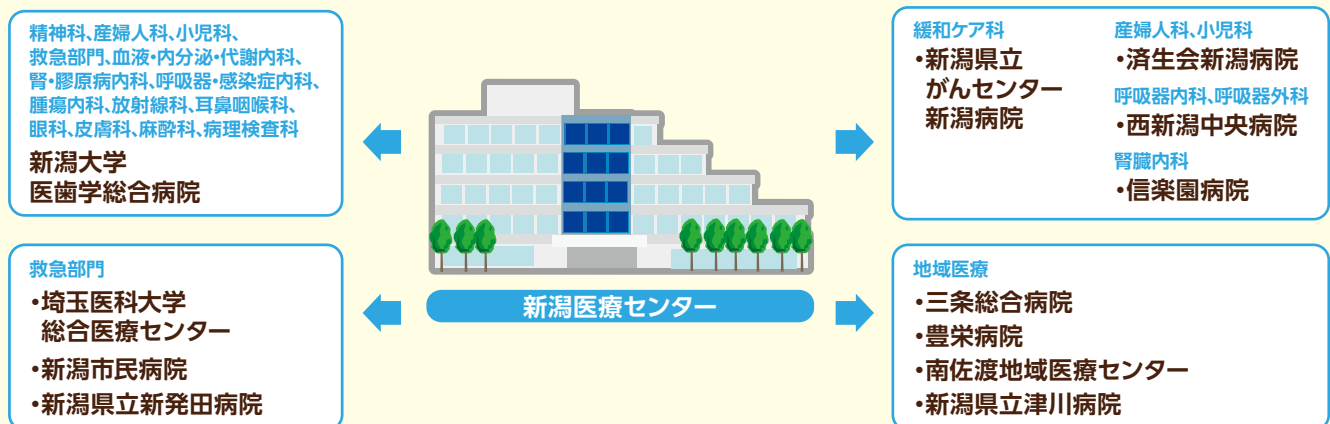
独自開発のコンピュータ支援技術を用いた人工関節手術

協力病院・協力施設のご紹介

新潟医療センターでは、

各分野別に協力病院・協力施設と共同で臨床研修を実施します。

当院各科と同一科を（再）研修できる協力病院・協力施設もあります。



臨床研修プログラムの詳細

新潟医療センターの臨床研修プログラムの魅力は、その自由度の高さです。

1 一般臨床研修コース

新潟医療センターの臨床研修プログラムの魅力は、なんといってもその**自由度の高さ**にあると思います。

1年次の初めには必修科目である内科(呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科)を24週研修し、プライマリ・ケアの基本を学ぶ足がかりとして頂きます。その後は必修科目[外科(4週)、小児科(4週)、精神科(4週)、産婦人科(4週)、救急(12週)、地域医療(4週)]と**選択科目(48週)**を組み合わせた、自分のなりたい「医師」像に応じた、多彩かつ柔軟な研修が可能です。

選択科目は1科目4週～6週を原則として選択できます。選択科目のプログラム作成にあたっては、到達目標の達成度に応じて、できる限り希望に沿ったプログラムの作成を行います。

また、新潟大学医歯学総合病院をはじめとした**各協力病院・施設での研修が可能です**。

●一般臨床研修コース 研修プログラムの例



※協力病院・協力施設での研修を含む。

※選択科目は循環器内科、内分泌・糖尿病内科、血液・内分泌・代謝内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、呼吸器・感染症内科、腎臓内科、腎・膠原病内科、腫瘍内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、小児科、麻酔科、精神科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、緩和ケア、救急の計26科目から選択する。

2 重点分野臨床研修コース

基本的な臨床能力の習得、という、新潟医療センターの臨床研修の目標を踏まえたうえで、さらに「その先」を研修してみたいという皆さんに、48週を選択科目を中心に、各種の**重点分野を集中的に研修できるプログラム**を用意しています。

一般臨床研修コースでは、選択科目は1科目4週～6週を原則としての選択になりますが、**重点分野臨床研修コースでは、重点分野についてはその原則以上の期間の研修の希望にも柔軟に対応します**。

また、他の分野の研修期間中でも、重点分野の各種カンファランスや興味深い症例の診療については積極的に参加できるような体制を設けています。

●重点分野臨床研修コース 研修プログラムの例



A.不整脈重点プログラム

当院では不整脈に対する積極的なカテーテル評価・治療（アブレーションなど）を近隣の病院と比べ多く行っている実績があります。新潟大学とも連携を密に行っており、県外の専門医師との交流もあり、最先端の不整脈治療の方針に沿った治療内容の更新を続けています。また、冠動脈や下肢動脈のカテーテル治療を積極的に行い、心臓リハビリについては牽引的立場に立っています。当プログラムでは、必修科目とは別に、選択科目としてまず一般的な循環器内科のトレーニング（例：16週）を積み、その後更に不整脈疾患の集中的なトレーニング（例：16週）、自由選択研修を行って頂きます。

C.スポーツドクター重点プログラム

スポーツ医学では、受傷直後の初期診断と治療、それに続く手術や保存療法、そしてリハビリテーション部と協力して早期に競技復帰をめざすことが求められます。当プログラムでは選択科目期間の48週をフレキシブルに使って、実際のスポーツ医学に深く接しながら、希望に応じて整形外科の基本的な手技や診療方法（一般外傷・救急疾患に対するプライマリ・ケア、手術など）を習得して頂きます。当院では多くの症例が経験できるのみならず、サッカーJリーグチームドクターも在籍しており、指導医と共に各スポーツ選手のメディカルチェックや治療を行い、練習場や試合会場などのフィールドにも帯同し、スポーツドクターの実際を経験することも可能です。

B.呼吸器重点プログラム

呼吸器疾患の病因は、感染症、アレルギーや自己免疫を含む炎症、腫瘍、循環障害、環境因子など多岐に渡るため、呼吸器疾患は極めて多彩です。呼吸器病との闘いには、病歴聴取、身体診察、臨床推論を基軸とし、全身疾患の知識を含め、病理学、放射線診断学、感染症学、免疫学、腫瘍学、呼吸生理学、集中治療医学、気管支鏡検査などの習得が必要です。当プログラムでは、呼吸器内科のみならず、関連する病理診断科、緩和ケア科、循環器内科、麻酔科、呼吸器外科、放射線科、血液内科、膠原病内科、救急の選択研修が可能です（協力病院での研修を含む）。

D.総合消化器内科・基本手技（内視鏡・超音波等）アドバンスプログラム

当プログラムでは、プライマリ・ケアの基本を最初に学ぶ足がかりとして、まず内科（消化器内科を含む）の必修研修を終えて頂いた後に、選択科目として消化器内科を重点的に研修します。この間に、他の必修科目のローテーションも行います。「内科力」の習得のため、必修科目で研修していない専門内科を、また、「消化器内科力」の習得のため、内視鏡・超音波といった基本手技だけでなく、外科や病理診断科、放射線科などを選択研修することも可能です（協力病院での研修を含む）。

3 イノベーター育成臨床研修コース

新潟県の新たな取り組みとして、**臨床研修中に起業、経営、医療イノベーションなどを学べるコース**が創設されました。内容は、起業やイノベーションのノウハウを持つ者によるレクチャー、プロジェクト内のOJTにより研修修了後は一定のスキルやネットワーク、医師を中心とした経営の修得を目標とし、オンラインミーティング、レクチャー（月2回程度）、アイデアソンなどへの出場、メンターからの指導などが行われます。

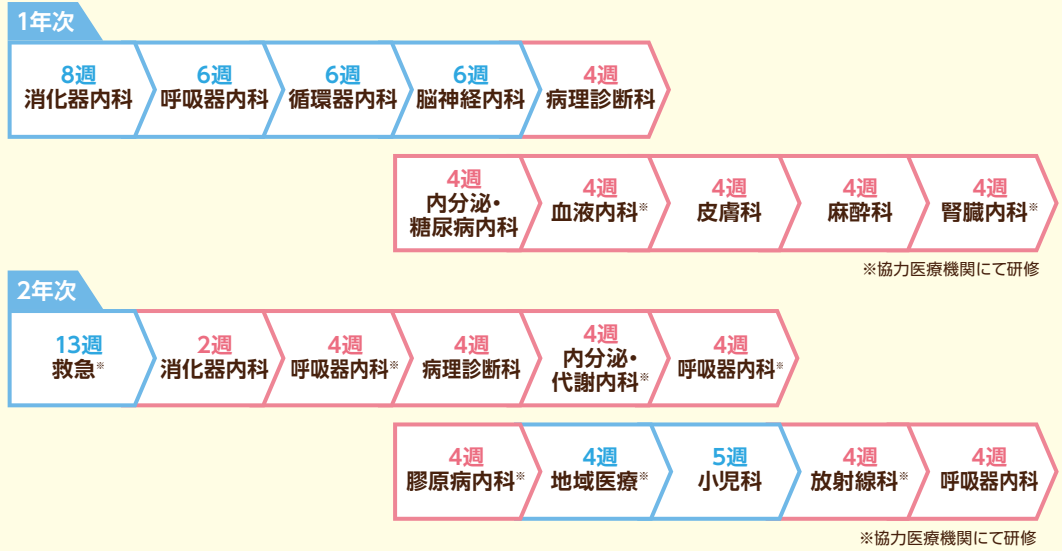
※一般臨床研修コースと同一の内容を研修した上で、受講は休日等を利用した自己研鑽の時間として位置づけられます。

先輩研修医の選択プログラムの例

自由選択型の研修ですので、関心のある診療科を特に研修することができます。

1 「興味のある分野を重点的に」タイプ

**研修医Aさん
の場合**
2年間の研修分野



2 「オールラウンド・バランスよく」タイプ

**研修医Bさん
の場合**
2年間の研修分野



3 「手術系を集中的に」タイプ

**研修医Cさん
の場合**
2年間の研修分野



先輩研修医からのメッセージ

CONTENTS.4

新潟市の中心部にある新潟医療センターで、充実した研修をしてみませんか？

- 「やさしく、ゆっくり、何度でも」
- 自由度の高い臨床研修プログラム

これから研修医になる後輩の皆さんへ

メッセージ1

長かった大学時代もようやく終わり、期待半分、不安半分の心持ちで働き始めました。新潟医療センターでは内科研修からスタートすることになっており、期待半分不安半分から、期待1割不安9割に傾いたのをよく覚えています。内科分野は面白くはありましたが、不得意分野が多々ある分野でもあったためです。そんな中始まった研修でしたが、各先生方に丁寧にご指導いただいたり、ベテランの看護師さんにラインの取り方のコツを教わったり、メディカルスタッフの方々にエコーの使い方を教えていただいたりと、様々な方の力を借りつつもなんとか内科の研修を終えることができました。学生時代よりチーム医療の重要性は理解していたつもりでしたが、現場に立つとその重要性をひしひしと感じました。

終わってみると、心地よい疲労感と達成感を覚えるとともに、まだまだ医学は奥深いと再認識することもできました。



先輩研修医
Aさん

メッセージ2

新潟医療センターでの研修が他の研修病院と大きく異なるのは、自由選択の期間が約1年近くにも及ぶという点です。研修が始まって最初の半年は決められた4内科をまわりますが、それ以降のローテーションは全て自分で組み立てることになっています。2年目の秋頃には後期研修先の選択がほぼ終わっていることを考えると、早めに後期研修を見据えたローテーションを組むことが可能だというのは大きな強みではないでしょうか。

また、中規模病院の強みということで、ローテ中の科に限らず指導医の先生方から科の垣根を超えてご指導いただくことも多くあります。

体力にはもともと自身のない私ですが、指導医の先生方をはじめ、先輩研修医や研修担当のスタッフの方々に日々ご指導をいただき、時には相談にものっていただいて、自分に無理のないペースで日々の研修に励んでいます。

どんな病院が自分に合うのかよくわからないという方も、まずはどうぞお気軽に病院見学に来てみて下さい。



先輩研修医
Bさん

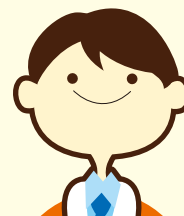
メッセージ3

研修内容に関しては十分な相談ができ、希望に沿った方法で研修できますし、例えば内科で研修しているときに外科の手術に助手として入ることができるなど、フレキシブルな研修が可能です。

また、症例に関してはcommon diseaseはもちろん、様々な症例を経験することができます。1年目、2年目ともに指導医と当直しますが、症例も豊富で非常に勉強になります。

経験できる手技としては、今後どの科に行っても役立つものから研修科ごとに特色のある手技まで様々なものを体験することができます。すべては研修医のやる気次第です。

研修病院で悩んでいるそのあなた!まずは見学に来てみてはいかがでしょうか?



先輩研修医
Cさん

メッセージ4

新潟医療センターは新潟市内という立地で、良い意味で規模が大きすぎず、急性期から慢性期まで幅広く診療を行う病院です。医師もお互いの距離が近く、先生方が科を越えて相談をしたり談笑したりしている姿をよく見かけます。

研修では1年目の4月から様々な手技を経験することができ、稀な処置や手術があると、他の科の先生から声をかけてもらえることもあります。これらは大学病院や関東の病院ではなかなか無いことだと思います。

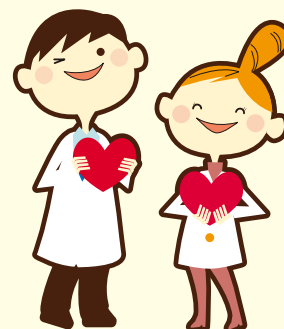
当院の研修は協力医療機関が多いことも特徴で、どの科を選択しても充実した研修ができるような環境が整えられています。科目や期間については研修医の意見を尊重してくれるため、多くの科を回って総合的な診療技術を学ぶことも、研修後の専門科目について深く学ぶことも可能です。

研修医室では、当院の研修医と、新潟大学からの協力型研修医と一緒にいます。同期や先輩後輩と、自分が経験した症例や嬉しかったこと、辛かったことなどを分かち合う時間も、とても大切だと思います。



先輩研修医
Dさん

なりたい「医師」に
きつとなれる!



処遇等

勤務時間

8時30分～17時

基本手当

1年次 350,000円 2年次 380,000円

これに日直あるいは当直研修手当+時間外手当が加わる
月額平均支給

1年次500,000円 2年次 570,000円程度

賞与なし

社会保険

健康保険、厚生年金、雇用保険

有給休暇

1年次…10日 2年次…11日

夏期・年末年始休暇有り

日直あるいは当直

計2回/月

常勤医と共に日直あるいは当直業務を行う

日直あるいは当直研修手当19,400円/回

その他

- 住宅手当…50,000円
- 学会や研究会への参加費用負担有り
- 医師賠償責任保険制度の適用有り
- メンター制度有り
- 院内保育所有り(24時間保育)

お問い合わせ・病院見学のお申込み先

病院見学は随時受け入れしています。電話かメールで事前にご連絡下さい。

総務課 臨床研修担当

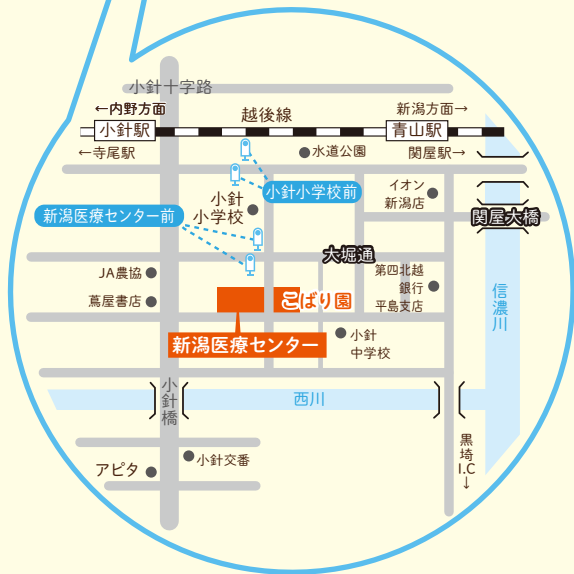
TEL **025-232-0111** (代表)

E-mail rinsho@niigata-medical.jp

FAX **025-231-3431**

URL <http://www.niigata-medical.jp/>

交通案内



バスで

- 〈新潟交通バス〉小針十字路口停留所から徒歩15分
- 小針小学校前停留所から徒歩10分
- 新潟医療センター前停留所から徒歩1分
- 〈新潟駅 から〉新潟交通バスターミナル
- 8番のりば 信濃町経由西部営業所行き約25分
- 10番のりば 浜浦町経由西部営業所行き約30分

電車で

- 〈JR 越後線〉小針駅からタクシー5分

車で

- 〈高速道路〉北陸自動車道新潟西料金所から車6分
- 〈国道〉新潟バイパス黒埼インターから車5分
- 新潟バイパス小新インターから車5分

新潟県厚生農業協同組合連合会

新潟医療センター

〒950-2022 新潟市西区小針3丁目27番地11号

TEL 025-232-0111

FAX 025-231-3431

<http://www.niigata-medical.jp/>



病院祭の一コマ



みなさまの健康と心の支えに

新潟厚生連